

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 7月27日更新

事務事業名		交通安全啓発事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	総務部	課長名 財津 公正
	施策	3	交通安全対策の推進		所属課	総務課	担当者名 本田 千晴
	施策の柱	9	交通安全意識の高揚		所属班	交通防災班	(内線) 1215
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 3	事業連番 10038	根拠法令	交通安全対策基本法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 37 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	
							成果優先度評価結果 : ①
							コスト削減優先度評価結果 : ②

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	交通事故から市民を守るため、市民の交通安全意識を高め、交通事故防止の各種事業を行う事務である。主な取り組みは以下のとおりである。 ①交通安全対策基本法に基づく対策協議会の開催 ②新入学児童への啓発用品の購入・配布 ③交通安全教室の開催 ④街頭キャンペーンや推進大会を開催するなどの啓発活動 ⑤安全安心の日(毎月1日、10日、20日)及び春、秋、年末年始の交通安全運動期間中の早朝パトロールと街頭指導の実施 主な、協力、連携団体として、大津地区交通安全協会合志支部、大津地区安全運転管理者等協議会合志支部連合会、大津地域交通安全活動推進委員協議会などがある。
【業務の流れ】	①委員の委嘱、開催通知、資料作成、費用弁償の支払い事務、協議会開催、資料のまとめ ②児童数の把握(サイズ等)、発注、支払い、贈呈、配付 ③教室依頼の受付、講師への依頼、教室の準備、開催 ④イベントの計画、参加依頼、啓発用品の購入、支払い、啓発チラシの作製、支払い、開催
【主な予算費目】	報酬、職員手当、費用弁償、需用費(消耗品費、修繕費、印刷製本費等)、役務費
【意見や要望】	市民から、自転車や車の運転者のマナーが悪いとの意見がある

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	・交通安全教室の開催や、小・中学校新入生への安全グッズの提供など交通安全活動の啓発や街頭交通指導など交通安全運動の推進を行い、交通事故発生件数の減少につなげた。	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		・交通安全対策協議会を開催。 ・街頭キャンペーン事業を実施。 ・安全安心の日及び各交通安全運動期間中に早朝パトロールを行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ア:交通安全啓発事業開催数		H28年度が交通安全計画書の作成年度になっており、交通安全対策協議会を通常年より1回多く開催するため、委員報酬・費用弁償・役務費が増加。また、交通指導車の車検があるため修繕費・公課費が増加。
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民		→ア:市民
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 件	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
交通事故にあわない、起こさないようになる		→ア:市内での交通事故発生件数
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
街頭キャンペーン等は、市民に限らず市外のドライバーにも交通安全を呼び掛けるため、市内での事故発生件数とする。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	29年度予定	30年度見込	31年度見込
①活動指標	ア	回	99	90	70	80	70	70	0	0
	イ									
②対象指標	ア	人	58,237	59,067	59,200	60,008	60,100	60,900	61,500	62,000
	イ									
③成果指標	ア	件	264	242	255	219	250	245	240	235
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	546	513	657	512	784	600	600
		(A)のうち指定経費	千円	546	513	657	512	784	600	600
		(A)のうち時間外、特勤	千円	231	97	286	213	243	270	270
	人件費	正規職員従事人数	人	5	0	4	0	4	4	4
		延べ業務時間	時間	520	0	500	0	500	500	0
トータルコスト(A)+(B)	(B)人件費計	千円	2,071	0	1,992	0	1,992	1,992	0	
		千円	2,617	513	2,649	512	2,776	2,592	600	

事務事業名	交通安全啓発事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 啓発の強化により、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 今後も事業を通して交通事故を減少させることが期待できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市として直接市民に働きかける啓発事業は本事業である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を維持向上させるためには削減の余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 啓発事業は、粘り強く繰り返し行うことで、効果があると思われ、事業実施のための人件費のため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全ての市民を対象としており、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市民の交通安全意識の高揚を図り生命を守ることは、市の取り組むべき事項であるため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

前年と比較し交通事故は減少した。今後についても本事業の効率化を図りながら啓発を進める。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						